

第6学年国語科学習指導案

日 時 平成15年10月3日(金) 5校時

児 童 6年2組 男18名、女20名 計38名

授業者 教諭 関戸 文則

1 単元名 話し合って考えを深め、意見文にまとめよう

2 教材名 「二つの意見から」

3 単元について

(1) 指導の重点

第5・6学年の書くことの指導目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。

これを受けて、この単元においては、「根拠となる事象と感想、意見などを区別して書くこと」、「出来事や事柄を的確に書くこと」、「文章全体の組み立ての効果を考えて書くこと」をねらいとしている。

意見文は、ある事柄や出来事についての自分の主張を述べて、他者を動かそうとするものである。主張とその主張の根拠となる理由から構成される。そこで本単元では、二つの意見を比較する目的を意識してテーマを決めることにより、自分の考えを深める目的を明らかにしていく。そして自分と違う立場の意見を聞く場を設定することで、新しい見方に気づき、多様な視点からのものの見方を整理させていくようにする。このような活動を通して、自分の意見やその根拠をより深め、事実の裏付けや組み立てのはっきりした意見文を書くことができるように指導してくることが大切であると考えます。

(2) 児童の実態

これまで児童は課題作文や日記、朝自習の「書く活動」など、さまざまな場面で文章を書く活動を行ってきた。「書く」ことに対しての抵抗感も小さくなってきている。また、友達の表現の良さに気づいたり、その良さを自分の表現に生かそうとする態度も出てきている。さらに説明文の学習を通して、段落の役割や段落相互の関係などについても概ね理解している。1学期の学習「ガイドブックを作ろう」では、読み手の立場に立って取材をしたり構成を考えたりする学習を進める中で、簡単に書いたり詳しく書いたりする力もついてきている。

しかしまだ、自分の考えや意見に執着する傾向が強く、友だちの意見から自分の意見を見つめ直したり、客観的に自分の考えを見つめ直したりすることが難しい。また、事実と意見を混在させてしまったり、多くのことを詰め込もうとがんばるあまり、論点がぼやけてしまう児童も多い。

(3) 教材観、指導観

「二つの意見から」という教材は、「片仮名の使われ方」についての新聞の投書を例にしている。「片仮名は分かりやすい。必要だ。」と、「片仮名は分かりにくい。必要のないところにも使われている。」という二つの意見を紹介している。子どもたちの意見が二つに集約されることから、それぞれの立場が明確になる。それぞれ根拠となる事象をもって自分の意見の優位を訴えようとすることで、ものの見方が広がり、考えを深めることができるようになる。

本単元は、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」が密接に関連しているので、調べる学習や討論会が、自分の意見を深め、確かなものにするための活動であるということを、念頭に置いて指導していく必要がある。そのためには子どもに、根拠や事象が、自分の主張とどのようにつながるか、自分の主張することの支えとなるかなどを振り返らせ、調べたこと・話し合ったことを意見文に生かすことができるように指導していきたい。

また、目的意識・相手意識・方法意識・評価意識を大切にしながら、指導にあたりたい。

4 単元の指導目標

【国語に対する関心・意欲・態度】

○題材についていろいろな角度から考え、討論したり意見文を書いたりしようとする。

【書く能力】

○自分の考えを明確に表現するために、文章全体の組み立ての効果を考える。

○事象と感想・意見を区別し、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりする。

【話す・聞く能力】

○自分の考えや意図が分かるように、話の組み立てを工夫しながら、必要に応じて適切な言葉遣いで話す。

○発表者の立場・意見を考えながら、話の内容を聞く。

○自分の立場を明確にして、討論会に参加する。

【言語事項】

○文や文章には、いろいろな構成があることを理解する。

5 評価規準

○単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

・片仮名の使われ方について、考えを明らかにするために資料を収集・整理したり、討論を行ったりしようとする。
組み立てや書き方を工夫して意見文を書こうとする。

【話す・聞く能力】

・片仮名の使われ方について資料を調べ、それをもとに自分の意見を分かりやすく話す。

・自分の立場を明確にして討論会で話し合う。

【書く能力】

・自分の意見を明確に表現するために、根拠となる事柄などを適切に配置し、文章全体の組み立てを工夫して意見文を書く。

・事実と意見を区別し、必要に応じて詳しく書く部分と簡潔に書く部分を選びながら意見文を書く。

【読む能力】

・必要な資料を探して読み、目的に応じて取捨選択し、自分の意見を持つために活用する。

【言語についての知識・理解・技能】

・必要な時に、辞書などを活用して調べる習慣を身につけ、片仮名の使われ方について関心を持って調べる。

6 指導計画

単元	主な学習活動	評価規準 (方法)	判断基準 B	判断基準 A	指導の手立てC
話す	・教科書の二つの投書を読み、意見の違いを理解し感想を持つ。 (理解) ①	■ 片仮名の言葉を使うことについて、自分の立場や感想を明らかにしている。 (発言)	・「賛成」「反対」「どちらでもない」の立場を明らかにして、自分の経験をもとに感想を述べている。	・自分の立場について、理由を付け加えて述べている。	・二つの意見の違いを明らかにする。
	・持ち寄った資料を分類・整理し、自分の考えを持つ。 (取材) ②	■ 観点に沿って資料を分類・整理し、自分の考えを明らかにしている。 (ワークシート)	・具体的な調べる観点を持ち、観点に沿って調べ、まとめている。	・複数の資料を収集し、取捨選択したうえで調べている。	・具体的な観点を示す。 ・資料の調べ方を個別に指導する。
	・討論会の進め方を理解し、討論会シートに自分の立場や理由などを書く。 (討論) ①	■ 調べたことをもとに自分の立場や理由などを明らかにする。(討論会シート)	・問題について自分の立場を明らかにし、調べて分かったことを理由に挙げて、簡潔に書いている。	・自分と異なる意見の立場から自分の意見を捉え、考えを見直している。	・「学級討論会」を想起させ、学習の進め方を確かめる。
	・討論会を行い、友	■ 調べたことをもと	・シートを見ながら、自分	・聞き手に話しかけるよう	・「わたしは～です。

聞	<p>達の意見や自分の考え、感想などをメモする。</p> <p>(討論) ①</p>	<p>とに、自分の意見が聞き手に伝わるように、話の組み立てを工夫して話している。(発言)</p> <p>☞ 友達の発表をよく聞き、自分と比べる。(討論会シート、話し合い)</p> <p>☞ 自分の立場を明確にして討論会に参加している。(発言、シート)</p>	<p>の立場、理由、事例の順に話している。</p> <p>・自分の考えと比べて聞きながらその共通点や相違点に気づき、友達の発言のキーワードや疑問点をメモしている。</p> <p>・質問したり、適切に回答したりしている。</p>	<p>に、また自分の主張が効果的に伝わるように、組み立てや話し方を工夫している。</p> <p>・自分と友達の考えの何が違うのかに注目して聞き、質問や回答を予想している。</p> <p>・必要に応じて根拠を挙げて反論したり、自分の考えの変容について発言している。</p>	<p>なぜかという～です。」などの話型を提示する。</p> <p>・友達の立場とその理由に注意して聞き取るように助言する。</p> <p>・分からないことは質問したり、自信を持って回答するように励ます。</p>
書	<p>・討論会をもとに、自分の資料を再度分類・整理する。</p> <p>(取材) ①</p>	<p>☞ 友達との交流をもとに、意見の深まりや変容を整理している。</p>	<p>・友達の意見についてまとめ、自分の資料に整理している。</p>	<p>・意見や理由、友達の意見を明確に整理し、深まりや変容を説明している。</p>	<p>・自分の意見と友達の意見を区別させる。</p>
書	<p>・討論会をもとにして、意見文の構成を考える。(本時)</p> <p>(構成) ①</p>	<p>☞ 自分の意見を明確にするために、意見と理由などを区別して組み立てを考えている。(構成表)</p>	<p>・自分の意見→理由→むすびまたは事象→意見→むすびという構成を考えている。</p>	<p>・討論会で出された友達の意見とそれに対する自分の意見を入れた構成を考えている。</p>	<p>・自分の考え、理由、結びの簡単な構成を考えるよう助言する。</p>
書	<p>・材料をそろえ、意見文を書く。</p> <p>(記述) ②</p>	<p>☞ 構成表にそって、段落や構成を意識して書いている。(記述の様子、意見文)</p>	<p>・構成表に沿って書くとともに、段落の初めに意見を紹介する事柄を短くまとめたり、意見の変容などを入れながら800字前後の意見文を書く。</p> <p>接続詞</p>	<p>・反対意見を生かして、自分の意見を深めるように書く。</p>	<p>・教科書の文例を参考にさせる。</p> <p>・個別に対話しながら書かせていく。</p>
書	<p>・自分の意見文と教材文を比較し、良さや改善点を見つける。(推敲) ①</p>	<p>☞ 教材文の構成や表現のよさに気づき、自分の表現に生かす。(推敲の様子)</p>	<p>・効果的な構成や表現の観点から、自分の意見文と教材文の違いに気づく。</p>	<p>・自分の意見文と教材文を比べ、より効果的な構成や表現を考えている。</p>	<p>・教材文が意見→理由→結びの構成になっていることに気づかせる。</p>
書	<p>・意見文を読み直して推敲する。</p> <p>(推敲・消書) ①</p>	<p>☞ 構成の工夫、意見の明確さという観点で意見文を読む。(推敲の様子)</p>	<p>・構成表に沿って書かれているか、考えと理由が適切か、漢字が適切に使われているかという観点で推敲している。</p>	<p>・自分の伝えたいことを表すという観点で推敲し、より効果的な表現を工夫している。</p>	<p>・主語と述語の対応や適切な表記を推敲し、音読させる。</p>
書	<p>・意見文を交換し、評価しあって学習を振りかえる。</p> <p>(評価) ①</p>	<p>(ワークシート)</p>	<p>・構成のよさ、意見の明確さという観点で意見文を読み、感想を書く。</p>	<p>・意見文に討論会が生かされているか、友達の意見の変容はどうかなどに着目して感想を書く。</p>	<p>・友達の意見を読みとり、感想を書かせる。</p>

(1) 目標

- ・自分の意見を明確に伝えるために、異なる立場の意見を踏まえながら、文章の組み立てを考えて構成表を作成する。

(2) 展開

段階	学習課程	学習活動と主発問 (◎)	教師の支援と評価 (○)	資料・教材教具
導入	課題把握 (3分)	1, 討論会により、自分の考えがどのように確かめられたかを振り返る。 2, 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の意見が伝わるように意見文の構成を考えよう。</div>	・討論会シートを見て、自分の考えがどのように広がったり、確かめられたりしたかを振り返るように助言する。 ○本時の課題をつかみ、見通しを持つことができたか。	討論会シート
展開	課題の追求 ①方法の理解 (9分) ②実作 (23分)	3, 構成 メモの内容を確認する。 教材 ◎それぞれの構成メモには何が書かれていますか。 4, 討論会を生かして、意見文の構成を考える。 ・討論会シートや構成メモを参考にしながら、構成表を作成する。 ◎「はじめ」「なか」「おわり」に気をつけながら、構成表を作りましょう。 ・教科書を例に、話し合いを生かした意見文の基本的な構成を確かめる。 ・確認したことを参考にしながら、再度構成表を作成する。	・「意見」と「理由」「むすび」を色分けし、それぞれを区別した構成を意識できるようにする。 ○構成メモの内容を正確に確認できたか。 ・意見と理由、反対意見などを区別して書くこと、それぞれの段落の役割など、これまで学習したことを想起しながら考え、メモを並べることが確かめる。 ・内容を付加したり削除したりしてもいいことを確認する。 ・できたら隣の人とペアを組み、アドバイスしあう。 ・構成の理由についても考えさせる。 ○意見と理由などを区別して組み立てを考えているか。 ・何名かの構成表を紹介したあと、教科書を例にして、意見文の基本的な構成を理解させる。 ○意見文の基本的な文章構成を理解することができたか。 ○討論会での友達の意見や感想を、適切に配置できているか。	構成メモ 掲示用構成表
	③発表 (6分)	5, 自分の構成表を発表するとともに、友達の発表を聞きその良さに気づく。 ◎構成表を発表してもらいます。聞いている人は、どこを工夫しているか見つけ	・順序だけでなく、理由の提示のしかたや、意見と理由がどうつながっているのかなどについても考えさせる。 ○友達の構成の工夫を見つけたことができたか。	児童構成表

		ましよう。		
終末	まとめる (4分)	6, 本時の学習を振り返る。 ◎今日の学習を振り返りま しょう。 7, 次時の確認をする。	・カードに今日の学習の振り返 りを書かせる。 ○今日の学習を振り返ることが できたか。 ・構成表を生かし、記述に入る ことを確認する。	評価カード

(3) 評価

・自分の意見を明確にするために、異なる立場の意見を踏まえながら、文章の組み立てを考えて構成表を作成することができたか。

(4) 板書計画

<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">構 成 表</th> </tr> <tr> <th style="width: 33%; padding: 5px;">おわり</th> <th style="width: 33%; padding: 5px;">な か</th> <th style="width: 33%; padding: 5px;">はじめ</th> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	構 成 表			おわり	な か	はじめ				<p>③ 結び・・・調べたこと の感想 討論会の感想</p>	<p>② 理由・・・自分が調べたこと ・・・自分と同じ立場の意見 ・・・違う立場の意見</p>	<p>① 自分の意見</p>	<p>課題 自分の意見が伝わるように、意見 文の構成を考えよう。</p>	<p>二つの意見から</p>
構 成 表														
おわり	な か	はじめ												